

# 調査研究活動実績

氏名 野町雅樹

本年度（令和2年4月～令和3年3月分）の政務調査研究に関する、主な活動の実施状況を報告します。

## 1 新型コロナウイルス感染症対策に関する調査研究

- ・ 県内医療機関や介護施設等における医療、福祉供給体制の現状と課題に関する調査
- ・ 県内事業者の事業継続と雇用の維持に対する経済支援策に関する調査
- ・ 県内の生活困窮者などへの経済支援策に関する調査
- ・ 県経済回復に向けた地産地消、観光リカバリーキャンペーンの推進に関する調査
- ・ ワクチン接種の状況と課題及び推進体制の強化に関する調査

## 2 産業振興に関する調査研究

- ・ 東部地域の観光施設におけるコロナ禍の影響と回復への支援策に関する調査
- ・ 宿泊業及び飲食業、運輸業などにおけるコロナ禍の影響と支援策に関する調査
- ・ 商店街におけるコロナ禍の影響と回復への支援策に関する調査
- ・ 県内におけるバイオマス発電の現状と課題に関する調査

## 3. 農業振興に関する調査研究

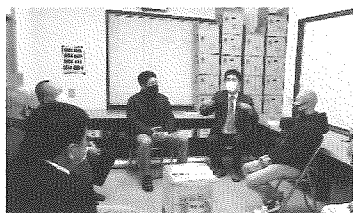
- ・ Next次世代型こうち新施設園芸システムの開発と普及に関する調査
- ・ 花卉や業務用野菜など農業におけるコロナ禍の影響と支援策に関する調査
- ・ 外国人実習生及び外国人労働者の受け入れとコロナ禍における支援策に関する調査
- ・ 県内のJA集出荷場及び加工場統合の現状と課題に関する調査
- ・ 中山間地域における鳥獣害対策の現状と課題に関する調査
- ・ 東部地域における農福連携の現状と課題に関する調査（詳細報告）

安芸地域では、農福連携に積極的に取り組む農家が「一般社団法人こうち絆ファーム・チームあき」いわゆるB型事業所を設立し、ひきこもりなど生きづらさを抱えた方々が、農業の現場で安心できる居場所と生きがいの持てる就労の場を提供していこうと新たな取り組みを展開している。この事業所では、ハウナスと露地オクラの栽培に加えて、周辺農家からのナスの袋詰め作業を受注するなど、周年雇用体系を確立しつつある。また、昨年、新たに26aの中古ハウスを増設、作業所も移転拡大し、さらに、地域や親元を離れて安心できる暮らしを希望する利用者のために、グループホームの整備も計画中である。現在、32人が農業現場で生き生きと汗を流し、それぞれが自立に向けて頑張っている。また、安芸地域では、JAの無料職業紹介所が、積極的に障害者の受け入れや農家の掘り起こしなどの就労支援を行っており、独自に「農業就労サポーター」を雇用している。その効果は絶大で、サポートの有無によって就労後の定着率には、圧倒的な違いがある。

県内では、他にも高知市の久保ファームや岩田農園などで、地域の福祉事業所と連携し、施設外就労で複数の障害者を受け入れているケースやJAの無料職業紹介所を通じた集出荷場での就労などの受け入れ先の拡大に加え、従事する作業の種類も栽培管理から選果や荷造り、農産物加工など、それぞれの障がいの特性や地域特性に応じた、地域発の新たな試みが広がっている。一方、県では、令和元年度から、安芸地域などの支援体制の優良事例を標準化し、他の市町村にも「農福連携支援会議」を立ち

上げるなど、その横展開に取り組んでいる。

また、県立特別支援学校の卒業生のうち農業関係の職場に就職する生徒は、現在、毎年1名程度である。しかし、将来的には、農業現場での受け入れ体制が充実し、双方のニーズが合致することが前提だが、就職先の数や条件に恵まれていない本県において、基幹産業である農業に特化した職業教育コースを設置することを検討してはどうかと考える。例えば、施設園芸やユズなどの農業が盛んで、農福連携の取り組みも活発な県東部にある県立山田特別支援学校及び田野分校において、モデル的に取り組んでみてはどうか。障がいをもつ生徒の親御さんの多くは、自分たちが亡くなった後の子ども達の自立を常に願い、安心できる職場に就職させたいと願う気持ちはひとしおである。社会のニーズが大きく変化する中で、障がい者の多様な社会参加の受け皿の一つとして農福連携が進むことは歓迎すべきで、今後、本県でも福祉、農業、教育などあらゆる分野が連携し、この取り組みを前に進めていくべきと考える。



こうち絆ファーム



ナスハウス現地調査



山田特別支援学校田野分校

#### 4 土木政策に関する調査研究

- ・防災減災国土強靱化のための3か年緊急対策の推進に関する調査
- ・四国8の字ネットワークの整備促進に関する調査
- ・西日本豪雨災害の復旧状況及び安芸川における大規模河川改修事業推進に関する調査
- ・和食ダムの整備促進及び和食川河口の排水対策に関する調査

#### 5 教育振興に関する調査研究

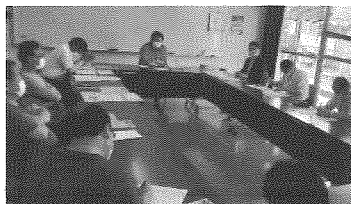
- ・県立学校の統合整備の現状と課題に関する調査
- ・県内におけるGIGAスクール構想の現状と課題に関する調査
- ・県立特別支援学校における職業教育の現状と課題に関する調査
- ・農業高校における次世代型こうち新施設園芸システムの活用に関する調査

#### 6 政務調査活動等に関するレポートの作成及び県政報告会などの開催

県議会における質問内容や調査研究活動及び、新型コロナウイルス感染症対策等を県政レポートVOL.11、12として取りまとめ、安芸市、芸西村の全世帯及び関係者に配布した。本年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、通常の県政報告会の開催を断念したが、感染状況や感染対策を踏まえて開催された各種会合で県政報告を行った。



県政レポート



花農家との意見交換



商工会議所との意見交換